

平成23年12月1日

総務委員会活動経過報告

I. 会議等の開催状況

第1回総務委員会 平成23年9月28日（水） 京都大学附属図書館
その他、メールによる審議

II. 活動内容

1. 理事、監事の選出、任期等について

(1) 理事、会長・副会長、監事に関する会則「了解事項」等について

理事や監事の決定手順・任期について、会則と了解事項間の不整合・不明確な点について討議した。理事任期及び新理事会の定義を明確化することについて総務委員会事務局と国大図協事務局で調整を行うこととなった。

(2) 「監事の選出について（申し合わせ）」について

監事の選出方法について、申し合わせに基づき平成24年度に一巡するにあたり、今後の選出方法について検討した。意見交換の結果、平成25年度以降の選出方法については引き続き検討し、平成24年度の秋までに委員会としての方針を決定することとなった。

2. 「委員会の設置について（申し合わせ）」及び関連事項について

委員会の在り方について、硬直化を防ぐため定期的な委員会評価と事業存続の可否を問う体制に変更することについて提案があった。会則との不整合、「理事の担当」との整合性をどのようにとるか、事業内容により常置と臨時を区分けしてはどうか、などの意見が出された。これらの意見を踏まえて、検討の状況を秋季理事会に報告することとなった。

3. 海外派遣事業の平成25年度以降の実施について

海外派遣事業は平成24年度までとなっており、その後の事業の継続について検討した。財源として現在の財団から引き続き拠出を受けるのは難しいが、事業としての意義は高いと考え、他の委員会とも協議しつつ、総会での寄附募集を強化したり、募集要項を見直したりした上で、存続の方向で調整を行うこととなった。

4. 大学図書館の「教育学習支援」に関する委員会設置について

大学図書館の役割として重視されてきている「教育学習支援」機能について、そのあ

り方を検討する委員会新設の提案があった。全国の実践事例の集約や体系的な事例整理などの要望があること、大学図書館にとって教員と連携した実際的な活動が重視されることなどの意見が出され、秋季理事会において総務委員会として新委員会の設置を提案することとなった。

5. 平成25年度以降の総会日程について

過去の総会及び関連行事の日程変遷を元に、平成25年度以降の総会日程について検討した。一日開催・二日開催のメリット・デメリットが挙げられた上で、平成25年度については本年同様の形式で行うこととし、開催日程については今後も検討していくこととなった。

6. 協会活動にかかるその他の諸問題について

過去の国大図協における予算資料を元に、適正な予算規模・繰越金・地区助成等の事業について検討した。各事業の予算は有意義に活用されているが、今後関連団体への拠出増加の可能性など不透明な状況であることを踏まえ、平成24年度予算については現在の構成を維持することとし、今後の動向を注視する継続課題となった。

7. 平成24年度国立大学図書館協会賞について

国立大学図書館協会賞に4件の応募があり、総務委員会設置要項3(2)にもとづいて協会賞専門委員会を設置し、協会賞専門委員会要項第4条による同専門委員会の委員長として東北大学の片山事務部長を指名した。